

報告事項ク

三徳山の世界遺産暫定一覧表登載への再提案について

三徳山の世界遺産暫定一覧表登載への再提案について、別紙のとおり報告します。

平成19年12月21日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

# 三徳山の世界遺産暫定一覧表登載への再提案について

文 化 課

国の世界文化遺産特別委員会で、継続審議案件となっている「三徳山」の世界遺産登録を目指し、今月中に三朝町と共同で提案書の再提出を行う予定です。

## 記

### 1 昨年提出の提案書に対する世界文化遺産特別委員会の見解（課題）

山岳修験の場として急峻な地形と独特の意匠・構造を持つ建築が調和し、神仏習合が進んだことを示す事例として、価値は高い。現時点での個別の課題は次のとおり。

- ・主題及び顕著な普遍的価値について、検討が必要。
- ・山岳修験の観点から、本資産の位置付けについて検討が必要。
- ・三徳山のみ資産構成が適切であるか否かについても、検討が必要。
- ・既登録の「紀伊山地の霊場と参詣道」と主題が類似する。また、信仰関連遺産としては、他の提案の中に主題の類似するものがある。

### 2 再提案にあたっての変更点等

- ・主題を明確にするために「三徳山ー信仰の山と文化的景観ー」に変更する。なお、三徳山の主題、普遍的価値を説明するために、その歴史的背景として、伯耆国分寺跡や上淀廃寺跡、大山等を取りあげる。
- ・資産の範囲を国名勝小鹿溪や未指定地を含む広義の三徳山全体に拡大し、周辺にバッファゾーン（緩衝地帯）を設定する。
- ・保存管理計画（未策定）の方向性を提示する。
- ・顕著な普遍的価値を証明するための調査、研究を継続する。

### 3 提案書要旨

- (1) 構成 ①提案のコンセプト、②資産に含まれる文化財、③保存管理計画、④世界遺産の登録基準への該当性

(2) 主題 「三徳山ー信仰の山と文化的景観」

- 三徳山は信仰の場、宗教施設群としての歴史的価値が高いだけでなく、「人と自然の調和」という思想が通底する信仰の空間として、時代を越えて人と自然との関わりを表現した顕著な文化的景観である。
- 神仏習合に表れた三徳山信仰の中核をなす行者道と建造物群は、優れた設計思想のもとに、信仰の基盤をなす自然環境との調和を見事に実現しており、人類の創造的才能を示している。

(3) 資産構成 名勝及び史跡三徳山、名勝小鹿溪、国宝投入堂をはじめとする仏教建造物群ほか

○三徳山特有の自然環境とその中に育まれた信仰空間を構成資産とする。

○投入堂等の有形文化財はもちろんのこと、無形文化財、民俗文化財を継承していく場としても評価していく。

(4) 保存管理計画の方向性

三徳山全山（名勝小鹿溪の指定範囲等を含む）をコアゾーンとし、その周辺に中世三徳山領を視野にいたしたバッファゾーンを設ける。資産全体とこの周辺を含めた包括的な保存管理計画の策定を検討する。

## 4 経 過

平成18年 9月 文化庁から世界遺産暫定一覧表記載資産候補の提出についての照会

11月 提案書提出（三徳山他24件）

平成19年 1月 世界文化遺産特別委員会における調査・審議結果の発表

→「富士山」他3件が暫定リストに登録、「三徳山」他19件が継続審議案件

9月 新規案件13件が提出される

12月 再提案書を提出（予定）→平成20年 1月から継続審議案件の審査開始

## 5 今後の審査等の見通し

・継続・新規案件について、専門的な観点から十分な審議を行なうため、世界文化遺産特別委員会の下に専門分野ごとに第1～第4までのワーキンググループ（以下「WG」という。）が設置される。

・各WGでは、以下の事項が審議される。

①地方公共団体からの提案案件に関する専門的な評価

②提案案件に盛り込まれている主題に関し、「顕著な普遍的価値」の観点から、主題が共通する複数の資産相互の比較又は統合に関する検討の実施

③その他これらに関連する課題の検討

・「三徳山」は第4WGで審議され、ヒアリング等も実施される予定。

○第4WG：時代を超えて、人と自然との関わりを中心とする資産を審議

→特に、「宗教・信仰・習俗に係る山岳・島嶼及び巡礼道・参詣道等の資産」に関する比較調査を行う。

【新規案件】「天橋立ー日本の文化的景観の原点」「阿蘇ー火山との共生とその文化的景観」

【継続案件】「出羽三山と最上川が織りなす文化的景観」「霊峰白山と山麓の文化的景観」「若狭の社寺建造物群と文化的景観」「三徳山」「四国八十八箇所霊場と遍路道」「沖ノ島と関連遺跡群」「宇佐・国東半島八幡文化遺産」「黒潮に育まれた亜熱帯海域の小島「竹富島・波照間島」の文化的景観」

※継続案件の担当については、今回の提案書再提出に伴い再調整される場合がある。

## &lt; 提案資産候補一覧 &gt;

## 継続審議案件 (20件)

候補名称	都道府県	候補名称	都道府県
青森県の縄文遺跡群	青森県	妻籠宿と中山道	長野県
ストーンサークル	秋田県	飛騨高山の町並みと屋台	岐阜県
出羽三山と最上川が織りなす文化的景観	山形県	三徳山	鳥取県
金と銀の島、佐渡	新潟県	萩城・城下町および明治維新関連遺跡群	山口県
近世高岡の文化遺産群	富山県	錦帯橋と岩国の町割	山口県
城下町金沢の文化遺産群と文化的景観	石川県	四国八十八カ所霊場と遍路道	徳島県・香川県・愛媛県・高知県
霊峰白山と山麓の文化的景観	石川県・福井県・岐阜県	九州・山口の近代化産業遺跡群	山口県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県
若狭の社寺建造物群と文化的景観	福井県	沖ノ島と関連遺跡群	福岡県
善光寺	長野県	宇佐・国東八幡文化遺産	大分県
松本城	長野県	黒潮に育まれた亜熱帯海域の小島「竹富島・波照間島」の文化的景観	沖縄県

## 平成19年度新規提案 (13件)

候補名称	都道府県	候補名称	都道府県
北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群	北海道	日本製糸業近代化遺産～日本の近代化をリードし、世界に羽ばたいた糸都岡谷の製糸資産～	長野県
松島一貝塚群に見る縄文の原風景	宮城県	天橋立-日本の文化景観の原点	京都府
水戸藩の学問・教育遺産群	茨城県	百舌鳥・古市古墳群-仁徳陵古墳をはじめとする巨大古墳群-	大阪府
足尾銅山-日本の近代化・産業化と公害対策の起点-	栃木県	近世岡山の文化・土木遺産群-岡山藩郡代津田永忠の事績-	岡山県
足利学校と足利氏の遺産	栃木県	山口に花開いた大内文化の遺産-京都文化と大陸文化の受容と融合による国際性豊かな独自の文化-	山口県
埼玉(さきたま)古墳群-古代東アジア古墳文化の終着点-	埼玉県		
立山・黒部～防災大国日本のモデル-信仰・砂防・発電-～	富山県	阿蘇-火山との共生とその文化的景観	熊本県

## &lt; 参 考 &gt;

## ※国内の世界遺産 (14件:文化遺産11、自然遺産3)

記載物件名	所在地	記載年	区分
法隆寺地域の仏教建造物	奈良県	H5. 12	文化
姫路城	兵庫県	H5. 12	文化
屋久島	鹿児島県	H5. 12	自然
白神山地	青森県・秋田県	H5. 12	自然
古都京都の文化財	京都府・滋賀県	H6. 12	文化
白川郷・五箇山の合掌造り集落	岐阜県・富山県	H7. 12	文化
原爆ドーム	広島県	H8. 12	文化
厳島神社	広島県	H8. 12	文化
古都奈良の文化財	奈良県	H10. 12	文化
日光の社寺	栃木県	H11. 12	文化
琉球王国のグスク及び関連遺産群	沖縄県	H12. 12	文化
紀伊山地の霊場と参詣道	三重県・奈良県・和歌山県	H16. 7	文化
知床	北海道	H17. 7	自然
石見银山遺跡とその文化的景観	島根県	H19. 7	文化

## ※暫定リスト記載物件 (7件)

「古都鎌倉の寺院・寺社ほか」(神奈川県、H4)、「彦根城」(滋賀県、H4)  
「平泉の文化遺産」(岩手県、H13)、「富岡製糸場と絹産業遺産群」(群馬県など、H19)  
「富士山」(山梨県、静岡県、H19)、「飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群」(奈良県など、H19)、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」(長崎県など、H19)

## ※世界遺産数 (851件: H19. 7現在)

文化遺産: 660件 自然遺産: 166件 複合遺産: 25件